

KEY TOPIC

5,000万部
への道

9社14誌が集結して大目標への決意を再確認! 東北VCサミット開催

4月25日(金)、『地域みっちゃく生活情報誌』5,000万部発行を目指すべく、第1回東北VCサミットが仙台市内で開催されました。当日は岩手県・秋田県・宮城県・山形県・福島県・新潟県で情報誌を発行する9社が集結。熱気に包まれた会場では、同じ志を持つ37名の仲間が交流を深め、改めて結束を固める一日となりました。

5,000万部発行に向けて 初のVC加盟社共催サミット

昨年の全国VCサミットで、VC加盟社から「東北の仲間が集まろう」という声が上がリ、実現したこの度の東北VCサミット。福島県で『月刊すかつ』、『月刊こみと』を発行しているエリア・マークス株式会社 佐藤賢二社長が幹事となり、当社も共に企画・運営を行うという、当社とVC加盟社による初の共同開催形式です。

開催の目的は理念の共有と、東北を中心としたエリアで情報誌を発行している営業、制作メンバー同士が、日々どのように情報誌発行を行っているか、どのような工夫を凝らしているかなどについて情報交換を行うこと。交流を深めて、自社発行誌をより良くするヒントを得るのが目的です。

VCとは、Voluntary Chain(ボランティア・チェーン)の略。「地域みっちゃく生活情報誌」の発行理念に賛同いただいた加盟企業に、当社が30年間積み上げた情報誌発行のノウハウを提供し、地域に根を張る媒体事業の活性化に取り組みます。2025年5月現在、北海道から沖縄県まで全国で26社85誌、約572万部のVC加盟誌が発行され、エリアごとの地域情報をご家庭に届けています。

2021年に1,000万部を突破した「地域みっちゃく生活情報誌」。日本全国のご家庭に情報誌をお届けし、情報インフラを構築するため、5,000万部発行を目標に掲げていますが、この成就にはVC加盟各社の協力が不可欠です。**5,000万部への道は、VC加盟各社とともにあります。**

現在、東北VCサミット参加誌の発行エリアでは14誌、約128万部を発行※1。東北6県に新潟県を加えた7県の世帯到達率は26%を超え、4軒に1軒以上のご家庭に「地域みっちゃく生活情報誌」が配布されています※2。



東北VCサミットに参加した加盟社と加盟誌 / 岩手県「情報紙ゆうゆう」(株式会社偉皇舎)、秋田県「月刊エー・クラス」(株式会社アクティブエロー)、宮城県「んだっちゃん!」(株式会社石巻日日新聞社)、「さきっぺ!」【なうてい!】「とみいず!」(株式会社中広)、「ARIFT宮城版」(株式会社中広メディアソリューションズ)、山形県「月刊あづま〜(東南おきたま版 / 西おきたま版)」(有限会社ピース・アソシエイト)、「ARIFT山形版」(株式会社中広メディアソリューションズ)、福島県「月刊すかつ」【月刊こみと】(エリア・マークス株式会社)、新潟県「まるごと県央!」【まるごと上越!】(株式会社まるごとメディア新潟)、「まるごと上越!」(株式会社上越タイムス社)

同じ目標に向かう家族で 充実した時間を共有

大島斉社長は開催の挨拶で「この事業は、我々のように、その地に根を張って、その土地に住む人と同じ水を飲むことが大切。同じお祭りに参加する我々だからこそ、地域の情報を集め、街の人々に真剣にお届けできるのです」と熱く語りかけ、情報誌を発行する意義の再認識を促しました。

続く事例発表では、各社が反響の大きかった企画、取材力を生かした特集、地元メディアとのミックス企画などを共有。幹事であるエリア・マークス株式会社からは、全国VCサミットの懇親会をきっかけに実現した、他エリアのVC加盟誌との読者プレゼント企画も紹介されました。また、発表の合間や休憩時間中も、各社の参加者が事前に用意した企画資料を手に、熱心に個別相談をするなど活気にあふれました。

そんななか、新潟県の株式会社まるごとメディア新潟 長原信幸社長より、「9月創刊予定で新潟市に進出します」とのサプライズ発表があり、さらなるエリア拡充を参加メンバー全員で喜びつつ、4時間にわたる会議は終了しました。

今回の東北VCサミットを機に、東北・新潟

んだっちゃん!	59,000部
まるごと県央!	64,000部
まるごと上越!	63,000部
なままる	82,000部
月刊すかつ	53,500部
まるごと下越!	54,000部
月刊こみと	33,000部
αKuRaShu	139,700部
情報紙 ゆうゆう	120,000部
ARIFT [山形版]	143,450部 [宮城版] 298,430部
とみいず!	84,600部
なうてい!	53,830部
さきっぺ!	40,000部

≡ 東北+新潟県 計128万8510部 ≡

エリアの発行社同士が交流を深め、互いの情報を共有して、より良い情報誌作りに生かしていく土壌ができました。参加者からも「参加全社の事例を聞いたことがよかった」「サミット後も現場レベルで直接連絡を取り合っており、良いきっかけ作りになった」など、喜びの声が届いています。

VC加盟社も、中広グループの家族の一員です。発行部数5,000万部到達を家族全員で喜び、全国各地になくてはならない情報を届けることができるよう、さらなる躍進を続けてまいります。

※1.2025年6月号時点 ※2.2025年5月時点に各県のホームページで公開されている最新の世帯数に基づく

COLUMN

より善き働きを 100年企業へ、創業48年に思う

700名の同志と未来へ 創立記念日の五誓

梅雨です。雨は生命に恵みをもたらします。故郷岐阜の中心にデンと構える金華山はいつそう色濃く鮮麗に、我々の働きも静かに人に寄り添う慈雨のようでありたいものです。

5月1日は、中広の48回目の創立記念日でした。700名の同志とともに、この日を迎えられたことを喜びあいたい。ご縁をいただいた全ての皆さんに御礼を申し上げます。

記念日にあたり、私は以下の誓いを新たにしました。

- 一、理念の旗をより高く掲げる
- 一、全国5,000万世帯に「HAPPYMEDIA」を届け、日本を元気にする
- 一、自分と自分の周りの人々の幸せのために、志を貫く
- 一、ともに生きる同志や家族と熱い企業を創る
- 一、「まこと」を尽くす誠実な働きを貫く

こんな数字があります。創業100年を超える会社は、日本全国の企業の0.2%程度だそうです。創業48年は道半ば、100年以上続く企業を仲間たちと育てていきたいと強く誓う。

豊かさの中で見失った 勤勉の本質を考える

数世紀に及んだローマ帝国はなぜ滅んだのでしょうか。多くの歴史家がさまざまな要因を挙げていますが、私は祝祭日の多さもその一因だと考えています。紀元前1世紀、ローマの休日は100日あったといえます。そのうち80日が無料の見せ物の開催日でした。紀元4世紀になると休日は200日、無料の見せ物の開催日数は175日に。建国の勤勉、質実の風は消え失せ、1年の半分を無料のパンとサーカスに明け暮れる遊民の国になりました。亡国の道を辿るのは必然です。

私の考え方が古いのは間違いないのですが、働くことを生活のための必要悪だと思っている人が多いように感じます。現在の日本は、世界的に見ても祝日が多い国です。土日休みに加え、祝日や夏季休暇、年末年始を含めると、年間127日程度が休みとなり、有給休暇を含めるとさらに増えます。ローマ帝国に匹敵する休日の多さです。いつからこんな国になってしまったのでしょうか。少なくとも戦前までは、働くことを美德とする雰囲気や国全体を覆っていました。

戦後も経済復興、所得倍増を目指して、勤勉に働いたものです。安い商品を高品質で画一的に大量に作る技術に長けた日本人は、作れば

売れる成功体験を掴み、一億総中流時代を謳歌。豊かさを手に入れ、快達さを求め始めるようになりました。国民は余暇の楽しみ方に注力し、政府もそれを奨励。その結果生まれたのが「働き方改革」と称する「働かせない改革」です。

より良い暮らしのために働いて収入を得ることを禁じる政策が、もっともらしい理屈、人権を盾にまかり通っている。見事なまでの亡国政策です。何かの圧力が働いているとは思わざるを得ません。勤勉さの本質とは何か、我々はよく考える必要があります。

生きがいとしての労働 より善き人生を求めて

私の持論は「人間とは働くから人間である」です。仕事は知性や叡智に導かれて行うもので、モノを作るのも経済活動するのも仕事です。スポーツや芸術、旅行は、それ自体は生きる目的ではありませんが、仕事への活力のために必要です。



甘い香りが漂うクチナシの花

一方で、人は生活するために働くのであって、働くことは苦痛だという考え方もあります。労働疎外論を否定するわけではありませんが、私たちは本当に「パンのみ」を求めて生きているのでしょうか。

喜寿を迎える私の率直な実感として、人は働くことを辞めたら、氣力を失い、急速に衰えます。食べるに事欠かない裕福な人でも、仕事を生き甲斐にしています。社会活動も立派な仕事です。リタイアしてボランティアに精を出す人がイキイキしているのは、まさに働く意義を示しているのではないでしょうか。私たちは単にパンを目的としているのではなく、「より善く生きるために」こそ働いているのです。

中広グループは、人がより善く生きるための情報を提供する。そのために仕事(働く)をするのだと思っています。

先日、岐阜で発行する『GIFUTO』の掲載店に足を運んだ際、小学生時代の同級生に声を

かけられました。「今日は俺の誕生日。子供や孫がな、久しぶりに集まってこの店で祝ってくれとるんや。ありがとな」と。『GIFUTO』が店選びの参考になったようでした。

中広グループの「地域みっちゃく生活情報誌」は34都道府県で174誌、1,273万部を発行し、一軒一軒手配りで家庭に配布するのを旨としています。その一冊が旧友の家族団圓に役立ち、地域経済の活性化に寄与している。「より善き働きをする」情報誌を送りだす同志諸氏に改めて感謝と敬意を表します。

幸せは「喜働」の先に 利他の精神で地域を元気に

冒頭、創立記念日の誓いで、「理念の旗をより高く掲げる」と述べました。中広グループの理念は、広告業を通して地域社会に貢献することです。「言うまでもない」「青臭い」と思われる方もいるでしょうが、何度でもお伝えしたい。

企業は生き物です。決して平坦な道ばかりではありません。しかし、どんな状況下にあっても「理念の旗をより高く掲げよ」と訴えます。それが企業の成長発展に通じる唯一の道だと信じるからです。

「利を求るに道あり」と申します。儲けるためには手段を問わない企業が100年続くことはありません。道を踏み外して得る利益は、理念と相容れないからです。

生かされていることへの喜びや報恩の思いから発する働き方、これを「喜働」と呼んでいます。企業に喜働精神があれば、100年も200年も存続できます。

では、どうすれば「喜働」できるのでしょうか。利他の精神で働くことです。中広グループの働く目的は「自分と自分の周りの人々のために」と位置付けています。周りの人々とは情報誌の読者です。利他の精神で仕事をすれば、働く喜びは大きくなります。中広グループが自分と自分の周りの人々のために喜んで働く集団であれば、100年続く企業になれることは間違いありません。

利他の精神で喜働すればするほど、幸せが舞い降ります。誠実に作り上げた『GIFUTO』が、古い友人の家族愛に役立ったことがそれを証明しています。そこに働くことを厭う感情など、入る隙はありません。

クチナシの香りが漂い、紫陽花が雨に濡れて色を深めます。大自然に感謝し、より善く生きるために、より善い仕事をしようではありませんか。

2025・水無月・慈雨に感謝して、如水こと二代目・後藤敬次

暮らしに根ざすメディアとして地域に貢献

地域みっちゃく生活情報誌

移住者と地域住民を結び、活気あふれる地域へ

岐阜県郡上市では、移住者や二拠点生活を選択する人が増えています。その人たちの暮らしをサポートしているのが、一般社団法人郡上・ふるさと定住機構です。郡上市からの委託で、移住促進事業と空き家バンク事業を担っており、このたび、それらの取り組みを弊誌にてご紹介しました。



巻頭特集では定住機構の活動内容に加え、実際に移住された人や空き家の貸し主への取材を実施。郡上市での暮らしぶりや空き家バンクの活用について、よりリアルにご紹介しました。

巻頭特集に続くページでは、郡上市に移住し店舗を営まれている人々を掲載。地域住民との距離が縮まることを願って、店舗オーナーの声が届けやすいQ&A形式による記事広告企画としたところ、発行後、街の人々から声をかけられたとの反響をいただきました。今後も地域の架け橋となれるよう、『地域みっちゃく生活情報誌』としての役割に励みます。(GUJOプラス編集室・天野)

金融機関と地域の架け橋となるSNS戦略

SNS

Instagram運用代行で東海3県の魅力を発信中！

働く人のための福祉金融機関「東海労働金庫(東海ろうきん)」が今年度4月よりInstagramアカウントを開設し、その運用代行を中広にて行っております。フィード投稿では東海3県にある素敵な飲食店や魅力的な施設をはじめ、金融機関だからこそ情報に自信をもって発信できる金融リテラシーを、リアル動画ではろうきん公式 Mascotキャラクター「ロッキー」のチャレンジ動画や、職員とロッキーの日常を撮影し、投稿しています。また、Instagram運用に合わせて告知ツールも受注し、チラシ・ポケットティッシュ・アクリルスタンドを制作し、東海ろうきん各支店にて配布しております。



地域密着を強みにしている中広だからこそできる東海3県を網羅した運用を行い、今後もフォロワーに有益な情報を発信してまいります。アカウントはQRコードよりご覧ください。

(中部PM1課・竹内)

起業家と商品づくりの舞台裏に迫る特別企画

地域みっちゃく生活情報誌

共感を通じ、消費者の心を掴む

『きららくらぶ』5月号では、表紙・巻頭特集にて地元在住の起業家3人が手掛けた店舗を紹介。連動企画として「今、この起業家がステキすぎる」を実施いたしました。

さまざまな商品があふれ、差別化が図りにくい中で、起業家の情熱や商品誕生までの経緯を届けることを重視。直接的に購買を促す企画ではありませんが、共感を軸とした情報発信は、消費者との長期的な関係性構築につながると考えております。発行後、Instagramのフォロワー数が700人近く増えたクライアントもいて、思いへの共感が具体的な行動を喚起する手応えを感じています。

直接的な訴求はもちろん必要ですが、商品ができるまでのストーリーを丁寧に伝えることで、新たな集客導線をつくることができます。今後も多様な視点を取り入れながら、読者にとって価値ある情報を届けられるよう、誌面づくりにまい進してまいります。(きららくらぶ編集室・南)



大学の新学部・新学科開設記念講演会

地域みっちゃく生活情報誌

講師手配から広報まで一括サポート

京都橋大学の新学部・新学科開設を記念した講演会が滋賀県大津市で開催され、歴史・文化・AIの各分野の専門家が「AIと共にひらく未来への扉」をテーマに議論を交わしました。当社はこのイベントにおいて、滋賀県にゆかりのある講師のブックイングを担当。また、地域密着型のプロモーションとして、『地域みっちゃく生活情報誌』ブランドのひとつ、『びわこと』の表紙および巻頭特集を手配し、メディアを通じて講演会のレポートを発信しました。読者からは「未来の可能性を感じさせる、興味深い内容だった」といった感想が多数寄せられました。

当社は、クライアントの魅力を最大限に引き出すため、ターゲットに合ったメディア選定から企画立案、進行まで一貫してサポートいたします。地域に根ざした効果的なプロモーション活動をお求めの際は、ぜひご相談ください。

(関西プロモーション課・永岡)



CHUCO CLUB

前期(47期)連結決算発表

5月9日に第47期(2024年4月~2025年3月)の連結決算短信を開示しました。売上高は113億32百万円(前期+10.7%)、経常利益は3億22百万円(同+4.8%)と、2021年3月期以降4期連続の増収増益となりましたが、期中に下方修正を行う結果となりました。同日、今年度の業績見込みとして、売上高132億円(+16.5%)、経常利益4億10百万円(+27.1%)を公表しました。



(管理本部・倉橋)

『cocolu club』リニューアル創刊

このたび、愛知県内で発行する『Cocon club』(刈谷市)、『ちるるくらぶ』(知立市)の近隣2誌を統合リニューアルし、『cocolu club(こころくらぶ)』として創刊いたしました。読者からは「新たに隣街の情報もわかるのうれしい」「これからもイベントやおいしい店の紹介をお願いします」など、リニューアル創刊へのお祝いや今後への期待が寄せられました。これからも新たな発見となる情報が発信できるよう邁進してまいります。

(cocolu club編集室・林)



2025育休復帰者研修を実施

高度成長期から時代は変遷し、いまや多くの母親が育児と仕事の両立を求められています。そんな復帰者を応援するための本研修を5月2日に実施しました。研修の核となるES部・伏屋部次長の講義では、中長期的なキャリア展望、パートナーとの役割分担、職場における情報共有の必要性などを伝えました。少子高齢化が進む中、復帰者を組織で支えていきましょう。

(人財開発室・延原)



仕事、家族、子どもに対して「感謝の気持ち」が大切だと気づきました。今できることを積み重ね、限られた時間を有効活用します。(リブル倶楽部編集室・佐藤涼子)

仕事を見える化できていないので、仕事・家庭の両方で今やっていることを書き出して把握することから始めようと思います。(ふぁみんぐくらぶ編集室・濱地未帆)

HAPPY MEDIA

『ままこっこ』

園児から家庭に直接届く子育て情報満載のフリーマガジン



【配布先】 県内全域の幼稚園・保育園・こども園
【設置先】 産婦人科・小児科・児童館・図書館・ショッピングモール等
【仕様】 冊子A5版 オールカラー
【発行時期】 年4回(1月・4月・7月・10月)
【発行部数】 みやぎ版/25,000部 ちば(中部版)/50,000部
群馬版/57,000部 ちば(北西部版)/50,000部
埼玉東版/25,000部 岐阜版/58,000部

『Start!』

進路選びを応援する高校生のための就職応援メディア



【配布先】 高校
【仕様】 冊子A4 オールカラー
【発行エリア】 山形県、群馬県、岐阜県、愛知県、三重県、滋賀県、鳥取県、福岡県

『講演会インフォ』

ゲスト講師、タレント選びからイベント企画立案、当日の運営までサポートするネットワークサービス

【対応エリア】 全国
【内容】 講演会・研修会・ウェブセミナー・コンサートの企画運営
【登録講師数】 7,000名
【年間実施件数】 400件以上
キーワードや、ご予算ジャンルを絞って講師を検索できます

クーポンアプリ「フリモ」

ダウンロードはこちら (iPhone/Android)

フリーマガジンに掲載しているクーポンがスマホの中に！切り取らなくてもスワイプで簡単に使える！
【対応OS】 iPhone: iOS14.0以上 Android: 7.0以上
※ダウンロード数 501,252件(2025年5月24日現在)



VCTOPIC

秋田県『月刊エー・クラス』株式会社アクティブイエロー

イベント告知を兼ねた企業ブランディング広告

Jリーグチーム「ブラウブリッツ秋田」の応援企業である株式会社ホサカは、洋上風力発電の工事やクレーンオペレーションが主業務の企業です。5月6日開催のホームゲームでマツチスポンサーとなった機会に、広く活動を周知することを目的に、本誌4月号に広告を掲載。見開きページ全面にチームカラーである青をデザインし、読者へのインパクトを狙いつつ、試合当日、情報誌を掲げて応援ツールとして活用できるようにしました。

読者からは、斬新なデザインに驚きの反応が寄せられました。誌面内に掲載したエスコートキッズの募集には、定員の2倍の応募があり、クライアントやチーム関係者からは大成功だったとのうれしい反響をいただきました。



▲『月刊エー・クラス』4月号見開き広告誌面

部署だより NO.137

アライアンス事業部 VC部 VC課



▲ VC部VC課のスタッフ

岐阜本社にあるアライアンス事業部では、『地域みっちゃく生活情報誌』の全国5,000万部発行を目指し、VC(ボランタリー・チェーン)事業を中心とした業務を担当。VC部VC課では、VC加盟社の皆様安心してフリーマガジンを発行できるよう、ノウハウの共有、研修、営業フォローなど、さまざまなサポートを日々行っています。

今期は年に一度の全国VCサミットや、地域単位でのVCサミット、毎月実施しているライブ配信「VCハッピーコミュニケーションTV」などを通じて、成功事例の共有やリアルな交流の場を提供していきます。また、生成AIシステム「CAI」を搭載した「C-Brain VC3」の活用を推進し、さらなる生産性向上にも努めてまいります。

VC事業は今年で12年目を迎え、北海道から沖縄までそのネットワークを拡大してきました。今後も全国各地で読者に愛される『地域みっちゃく生活情報誌』をお届けできるよう、スタッフ一同、より一層業務に励んでまいります。(アライアンス事業部VC部・武)

編集後記

選挙が近づくと、失態に関する報道をよく目にする気がします。そんな時、ガイドラインが必要だという声を耳にしますが、本来必要なのは判断力や、窮地でも立ち止まり周囲に意見を求める心の余裕であり、そうできる仲間がいることだと感じます。政治家や著名人に限らず、「なんでこんなことに」と頭を抱えなくなる瞬間は誰しもあるはず。[相手のせいなのに！]とモヤッとすることもあってしょう。しかし、そんな時にSNSや誰がいるか分からない所で感情をぶつけても、状況は悪化する一方。いいことなんて一つもありません。

とはいえ、一人で抱え込むのは本当に辛いですよ。大丈夫です、安心してください。中広グループは一蓮托生。安心して相談できる仲間がいるって、会社員にとっては何よりの心の鎧です。第1四半期最終月、この一体感を胸に、張り切ってまいります。

(広報・マーケティング 岡本)



シリーズ 中広グループ会社紹介 株式会社まちトピア エンタメの力で地域を元気に!

中広グループ各社それぞれの個性や強みを紹介していくシリーズ企画。第1回は、新しいエンターテインメントとして全国的に人気が広がっている「謎解き」を制作・提供・運営する会社として、2025年度より中広から独立した株式会社まちトピアをご紹介します。代表取締役の後藤大地社長に同社の強み、謎解きへの思い、これからの抱負を伺いました。

——謎解きは長らく中広SP部門の人気商材でした。今年度、謎解き事業を主軸とした会社を設立した経緯を教えてください

後藤 謎解きが世の中に登場して15年ほど経ちます。中広では10年以上前から自身がクリエイターとして、お客様のご要望ごとにオリジナルの謎を創作し、さまざまなプロモーションのお手伝いをしてきました。中広での実績は200件以上にのぼります。また、近年では行政や企業が地域活性化や集客の手段として謎解きイベントを実施するなど、全国的にコンテンツとしての人気も高まっています。こうした背景のなか、中広を持つネットワークを活用することで新しいビジネスや価値の創出ができるのではないかと考え、中広の後押しを得て、謎解きを始めたエンタメコンテンツを専業とする会社を設立しました。

——謎解きの人気が高まっているということは競合も多いかと思いますが、まちトピアの強みはどのような部分でしょうか

後藤 謎解きはビジネスになってまだ10年ほど、エンタメとしても15年程度の歴史であり、謎解き制作から運営までワンストップで行える会社は実は多くありませんので、クリエイターとして十分な実績を持つ老舗であることがまず強みです。また、世の中の謎解き制作会社は作る力はあっても広げる力を持っていません。こうした観点からも、中広という



まちトピア

クエスチョンマークが隠された、まちトピアのロゴ。トピアはユーロトピアから、街を理想郷にするという思いから社名に取り入れた

上場企業のグループ会社であることの信頼性や、中広グループ、VC※各社といったネットワークがあるのは大きな優位点です。そして何よりも、『地域みっちゃん生活情報誌』との連携が今後、最大のストロングポイントになると見据えています。メーカーとしての主体性を持ちつつ、情報誌のエンタメカと広告の質を上げ、地域経済の活性化に積極的に寄与できると考えています。

——謎解きのエンタメとしての魅力やプロモーションとしての可能性をどのようにお考えでしょうか

後藤 謎解きの一番の魅力は幅広い世代が同時に楽しめることです。例えば、単純なスタンプラリーは大人か子ども、どちらかの要望が先に立ってしまいがちなので、親子と一緒に楽しむのは難しい側面があります。一方で謎解きはひらめきで謎が解けるので、親子

※VCとはVoluntary Chain(ボランティア・チェーン)の略で複数の仲間が独立性を保ちながら、志を共に協同で企画・編集・営業・運営する組織

謎解きプロモーション実績



昨年、開業150周年を迎えたJR大塚駅の周年事業として謎解きを実施。1万人が参加するなど大好評を博し、今年も受注に至っている



左は岐阜県岐阜市、右は東京都世田谷区が実施した謎解きイベントの周知ポスター。地域活性化や観光周遊イベントとして行政案件も増えている



謎解きを活用した、カルビー株式会社の商品販促事例。パッケージに謎を設置し、WEBで答え合わせが可能。参加者数は5万人を超え、確かな成果を残した

が同じ目線で一緒に楽しむことができます。世代を問わず同じ時間を共有して楽しめるエンタメコンテンツって、実はとても貴重なんです。また、プロモーション手段としてはとても柔軟性に優れています。例えば商業施設の場合、飲食店に誘客したい、施設の滞在時間を伸ばしたいなど悩みはさまざまです。でも謎解きであれば、お悩みの解決に即した物語と謎を創出できるので、来場者の行動をコントロールすることが可能です。しかも、エンタメコンテンツなので参加者の満足度が高い。このような汎用性と顧客評価の高さが、行政や企業のプロモーション手法として近年、人気を博している理由です。

——今後の展望や夢を教えてください

後藤 まず今期は一件でも多くの案件を手掛けて通期で黒字を出し、会社としての実績を作っていくことです。長期的には、中広のネットワークを活用しながら、日本全国の各地域で謎解きを実施したいと考えています。そして、ゆくゆくは47都道府県に謎解きの常設施設やアンテナショップを展開し、集客したいけどできない店舗や企業にコミットしたり、地域の人々の休日を楽しみを提供したいです。ウェブサイトやSNSの活用など謎解きも進化していますので、これらを取り入れながら常にコンテンツを磨き上げ、エンタメによって人を動かし、笑顔を作り、地域を元気にしたいです。

会社概要 商号 株式会社 中広 (CHUCO CO., LTD.) 東証・名証 証券コード[2139] 創業 1978年 資本金 4億430万円 従業員 449名 グループ全体 700名 (2025年5月末現在)

事業内容 フリーマガジン事業 イベント・セミナー事業 プロモーション事業 通信販売事業 クロスメディア事業 VC事業(ボランティア・チェーン)

理念 広告業を通して「地域社会への貢献」 (地方創生に!) 社は 人が命・人が宝・人が財産 (社員が輝く組織に!) 機会損失の排除 (モノ・トキ・ココロの無駄ゼロ)

社訓 飲水不忘掘井人 (感謝の心で!)

グループ会社 株式会社中広メディアソリューションズ https://chuco-ms.co.jp 株式会社ケイ・クリエイト http://www.k-create.co.jp 株式会社ケイビーエス http://www.post-kps.co.jp 株式会社 関西ばど https://www.kansaipado.co.jp 株式会社まちトピア https://www.machitopia.com

第48期 基本方針 スローガン Data Driven Innovation テーマ 生産性向上

オフィシャル運営サイト ●中広企業サイト ●中広採用サイト ●中広VCサイト ●フリモ(WEB) ●講演会インフォ ●わくわく生活(楽天)他 ●販促blog ●HAPPY MEDIA GUIDE(情報誌見稿サイト) ●ハッピーメディアの児童虐待防止運動 ●日本地域メディアネットワーク(JLMN)

公式アカウント ●Facebook ●YouTube ●Instagram ●X(旧Twitter) リンク集はこちら

加盟団体 ●JLAA 一般社団法人日本地域広告会社協会

2017年取得 2016年取得

次世代育成支援対策推進法に基づく「くるみん」認定企業です 女性活躍推進法に基づく「えるぼし」認定企業です

営業拠点

■本社 岐阜本社 岐阜市東興町27 名古屋本社 名古屋市中村区名駅1-1-1 24F

■FM事業部 《北海道》 SORA編集部 滝川市東町6-1-11 TEL.0125-74-6169 旭川市東光6条6-4-7 TEL.0166-85-6158 AO編集部 苫小牧市旭町3-7-6 TEL.0144-56-5704 《宮城県》 とみぞ!編集部 仙台市泉区泉中央1-33-7 2F TEL.022-341-4809 とうてい!編集部 名取市手倉田字諏訪532-1 1F TEL.022-797-8541 さきっぺ!編集部 大崎市古川旭5-3-2 2F TEL.0229-25-8792 《群馬県》 高崎フリモ 前橋フリモ編集部 高崎市新保町139-1 2F [高崎フリモ]TEL.027-353-8714 [前橋フリモ]TEL.027-353-8711 名せるくらぶ編集部 太田フリモ編集部 伊勢崎市茂呂町2-3522-6 TEL.0270-61-6117 桐生みどりフリモ編集部 桐生市本町6-27-1 3F TEL.0277-47-7635 《埼玉県》 きためきくらぶ編集部 敦賀市野神40-277-2 1F TEL.0770-24-2622 《山梨県》 ParuPi・ビグレ編集部 甲府市上石田4-1-10 TEL.055-221-0682 《岐阜県》 GiFUTO編集部 岐阜市東興町27 4F TEL.058-247-2512 SARUBOBO編集部 高山市下岡本町2967-2 TEL.0577-34-5579 Wao!Club・mintoup はしまる編集部 大垣市加賀野4-1-13 [Wao!]TEL.0584-75-1960 [mintoup]TEL.0584-77-4088 [はしまる]TEL.0584-71-6226 《宮城県》 GUJOプラス編集部 郡山市八幡町小野91-1 TEL.0575-67-0655 たんとんくらぶ編集部 各務原市那加栄町14-1 TEL.058-380-6066 きらくらぶ編集部 関市山王通1-6-3 TEL.0575-24-4334 かにさんくらぶ編集部 可児市今渡字町1595-190 TEL.0574-25-7009 おりべくらぶ編集部 多治見市太平町4-38 TEL.0572-21-2626 らせるくらぶ編集部 土岐市泉西山町1-4 3F TEL.0572-55-2033 maika club編集部 中津川市中津川字上金1231-1 TEL.0573-62-2522 《愛知県》 中村フリモ・中川フリモ 港区フリモ編集部 名古屋市中川区柳森町107 2F TEL.052-355-6111 《福井県》 きらめきくらぶ編集部 敦賀市野神40-277-2 1F TEL.0770-24-2622 《山梨県》 緑区フリモ編集部 名古屋市中村区1-150 2F TEL.052-829-0270 守山フリモ アサヒセット・ひまわりくらぶ編集部 尾張旭市東本郷4-1-10 TEL.0561-42-5799 [アサヒセット]TEL.0561-42-6981 [ひまわりくらぶ]TEL.0561-42-6971 ゆいまるくらぶ・さんごくらぶ かなうくらぶ編集部 愛知郡東郷町北山台4-1-6 [ゆいまるくらぶ]TEL.0561-42-4850 [かなうくらぶ]TEL.0561-42-4855 cocolu club・安城フリモ 北知多フリモ編集部 知多郡東浦町大字緒川字下沙田17-1 TEL.0562-85-1077 リトル倶楽部編集部 大山市松本町2-29 TEL.0568-39-6111 岡崎フリモ編集部 岡崎市明大寺町字川端19-13 4F TEL.0564-83-7121 西尾フリモ・オレンジクラブ編集部 額田郡幸田町大字芦谷字毛倉62 1F TEL.0564-83-7763 《三重県》 ぼろんくらぶ編集部 桑名市殿町10 TEL.0594-25-9988 Belve club編集部 鈴鹿市神戸1-10-10 TEL.059-373-4400 よっかいちai編集部 四日市市鶴の森1-5-16 8F TEL.059-325-7562 つっぴ〜す編集部 津市栄町1-840 5F TEL.059-213-7666 リーヴクラブ編集部 名張市鴻之台3番町36-1 TEL.0595-41-0156 ふぁみんくらぶ編集部 松阪市東町596 3号棟 1-A TEL.0598-31-3623 《伊セラクラブ編集部 伊勢市岩洲3-6-5 2F TEL.0596-63-8282 からっと倶楽部編集部 尾鷲市坂西町2-34 2F TEL.0597-37-4100 さみっとくらぶ編集部 志摩市阿児町鶴方2850-126 D号室 TEL.0599-65-7201 《滋賀県》 ほてじゃこ倶楽部編集部 長浜市宮町1161-7 2F TEL.0749-68-2577 こんきくらぶ編集部 彦根市長音根町9-25 1F TEL.0749-26-0555 オウティクラブ編集部 近江八幡市桜宮町289 3F TEL.0748-36-1148 ひわこと編集部 大津市浜大津2-1-35 6F TEL.077-521-3911 《奈良県》 かしくらぶ編集部 橿原市葛本町260-1 1F TEL.0744-48-0606 《和歌山県》 まいなが・まいとん編集部 岩出市高根84-2 2F TEL.0736-67-7630 《鳥取県》 つばさ編集部 鳥取市吉方温泉3-860 2F TEL.0857-30-6446 くらくらぶ編集部 倉吉市山根540-1 4F TEL.0858-27-0510 こはくらぶ編集部 米子市西福原2-9-49 2F TEL.0859-21-5400 《広島県》 はつカラ編集部 大垣市加賀野4-1-13 TEL.0584-74-0745

■管理本部 経理部・総務人事部 岐阜市東興町27 2F TEL.058-240-4005 [購買流通課]TEL.058-246-0285

■グループ会社 株式会社関西ばど 本社 大阪市西区初本町1-10-24 5F [おるね]TEL.0940-72-6102 北大阪支社 寝屋川市大利町10-10 1F TEL.072-827-0817 東大阪営業部 島根市東町1-1064-15 1F TEL.0942-50-9619

■東京プロモーション事業部 港区新橋2-16-1 9F TEL.03-6910-2940 ES部 岐阜市東興町27 4F TEL.058-248-5611

■中部プロモーション事業部 名古屋市中村区名駅1-1-1 24F TEL.052-571-2139

■ビジネスプロデュース事業部 ビジネスプロデュース部 岐阜市東興町27 4F TEL.058-247-2511 関西プロモーション部 大津市浜大津2-1-35 6F TEL.077-521-3911 九州プロモーション部 北九州市小倉北区塚町1-3-15 4F TEL.093-383-7581

株式会社ケイ・クリエイト 一宮市木曽川町里小牧寺東125 TEL.0586-86-0608 東尾張支社 岩倉市新柳町1-50 2F TEL.0587-96-8331

株式会社ケイビーエス VC部 岐阜市東興町27 4F TEL.058-247-2511

株式会社まちトピア 港区新橋2-16-1 9F TEL.03-6910-2940